

### 第三章 31) イタオカ耕地 (イタオカ駅) モジアナ線サン・シモン駅～カジュルー駅 (サン・シモン、サンタ・ロザ、アメリカ、コヘデイラ、サンパイオ、モレイラ、イタオカ、カジュルー)

\* 1912年4月神奈川丸の第4回移民が配耕(「移民40年史」)

### 32) サント・アントニオ耕地 (サンタ・ローザ駅)

モジアナ線サントス・ズモン駅(分岐点)～カジュルー駅(サントス・ズモン、ニュー・ミリン、サンタ・ローザ・デ・ビテルボ、アマリア、コレデイラ、サンパイオ、モレイラ、イタオカ、カジュルー)

\* 島岡梅一、1927年、サントス丸、滋賀県甲賀郡甲賀町大原櫟野出身、サンタ・ローザ駅入耕後、カフェランジア、アラサツバ、ペレイラ・バレット等を転じてアンドラジーナ市に到着し、後年(1975年)聖市に移る。(海を渡った近江の人たち 268ページ)



サント・アントニオ耕地 石川達三著書・蒼茫に出て来る場所 サンタ・ロザ・ド・ヴィテルヴォ駅

\* 石川達三 1930年「蒼氓」の著者(「蒼氓」235ページ)

\* 松宮金二、1931年3月、サントス丸、福井県遠敷郡出身、サント・アントニオ耕地に配耕、のちリンス市に移転・後年ペナポリス市在住。(「ブラジル日系紳士録」484ページ)

\* 野上元治、1933年4月、リオ・デ・ジャネイロ丸、福岡県浮羽郡浮羽町出身、就労後転々と移転、1954年パラナブアン町郊外再移転しコーヒー園経営。(「ブラジル日系紳士録」706ページ)

### 33) フランカ駅

\*北本昭信、1926年7月、サントス丸、熊本県玉名郡玉名市出身、同駅付近のスカウーバ耕地に就労すること2ヶ年。1939年マリリア市で製麺工場、バザール等商業に従事、後年ブラジルに於ける初代ラジオ放送、またサン・パウロ〜リオ・デ・ジャネイロ市に日語放送部を開設。  
(「熊本県人発展史」241ページ)

\*川端万次郎、1930年4月、ハワイ丸、大阪府北河内郡守口町出身、同駅ペトロポリス耕地で義務農年終了、同駅のサンタ・マリア、サンタ・テレジーニャ耕地で就労後、付近で米作に3ヶ年従事するが早魃に見舞われた。後年パラナ州トレウバラス移住地フィゲーラ区に入植する。  
(「トレスバラス移住地開拓20周年史」244ページ)

\*熊谷重弘、1933年7月、愛知県北設楽郡富山村出身、同駅カショエイラ耕地で義務農年終了、サン・ジョアキン駅サンタ・フェー耕地に転じて独立農の綿作を始めたが、翌年父親が病気になりリベイロン市内で治療するが死亡。母親も6ヶ月後、追うようにして死去した。後年トレスバラス移住地フィゲーラ区に入植する。  
(「トレスバラス移住地開拓20周年史」245ページ)